

Appendix

規制上の申告記入例

当資料は、ISO20022 フォーマットにおける、規制上の申告設定時の注意事項と入力例となります。

本フォーマットは ISO20022 によって指定された pain.001.001.09

CustomerCreditTransferInitiationV09 を利用しています。

また、Payments Initiation - Maintenance 2018 - 2019 Approved by the Payments SEG on 21 January 2019 のドキュメントに準拠しています。

「Appendix_PaT_Upload_Data_Format(GCMSPlus_MX_XML)_ja.pdf」の補足資料となりますので、当該マニュアルも併せて確認してください。

1. 規制上の申告のタグ設定方法について

1-1 以下を確認して頂き、アップロードファイル作成時の参考としてください。

🔗 【タグのイメージ】 (1)タグ設定のイメージ

🔗 【タグのイメージ】 (2)タグ構造のイメージ

1-2 受取人銀行国の当局宛と送金銀行国の当局宛にそれぞれ申告内容を設定する必要がある場合は、<RgltryRptg>タグを繰返し利用してください。同一の<RgltryRptg>タグ内に<DbtCdtRptgInd>タグを重複して設定できません。

🔗 【正しい入力例】

🔗 【エラーになる入力例】

2. 受取人銀行国の当局宛への設定方法について

2-1 <RgltryRptg>タグは 3 回の繰返しまで、<Dtls>タグは 2 回の繰返しまで、<Inf>タグは 10 回の繰返しまでに設定された内容が画面に表示されます。上記に当てはまらない場合は、画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目に設定して発信されます。

🔗 【正しい入力例】

🔗 【画面表示されない入力例】

2-2 1 回目の<Dtls>タグ内に<Inf>タグを設定せず、2 回目の<Dtls>タグ内に<Inf>タグを設定した場合、2 回目の<Dtls>タグ内の<Inf>タグの設定内容が画面に表示されます。

🔗 【正しい入力例】

🔗 【画面表示されない入力例】

3. 送金銀行国の当局宛への設定方法について

本項目は以下に指定のケースのみ必要な項目です。

「Appendix_PaT_Upload_Data_Format(GCMSPlus_MX_XML)_ja.pdf」(フィールド#140～#143)を参照ください。以下のケース以外で設定された場合は送金銀行である弊社にて「規制上の申告」項目としてお取り扱いします(画面には表示されません)。

3-1 送金区分が外国送金で本邦口座からの引落の場合

3-1-1 <Inf>タグ内の設定方法

<Inf>タグには入力値の冒頭に申告内容を示す固定文言(キーワード)を指定する必要があります。詳細は、以下を確認してください。

☞ 【申告内容に応じた設定条件(必須 任意)と設定方法】

3-1-2 <RgltryRptg>タグは 3 回の繰返しまで、<Dtls>タグは 4 回の繰返しまで、<Inf>タグは 8 回の繰返しまでに設定された内容で条件に合った項目が画面に表示されます。上記に当てはまらない場合は、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。表示条件は、【正しい入力例】と【画面表示されない入力例】を参照ください。

☞ 【正しい入力例】

☞ 【画面表示されない入力例】(1)

☞ 【画面表示されない入力例】(2)

☞ 【画面表示されない入力例】(3)

☞ 【画面表示されない入力例】(4)

3-1-3 以下の接頭語は、各<Dtls>タグ内の<Inf>タグに重複して設定することができません。

・"DEST△"

・"IMF△"

・"ITEM△"

・"LCNS△"

・"LOAD△"

・"ORGN△"

☞ 【正しい入力例】

☞ 【エラーになる入力例】

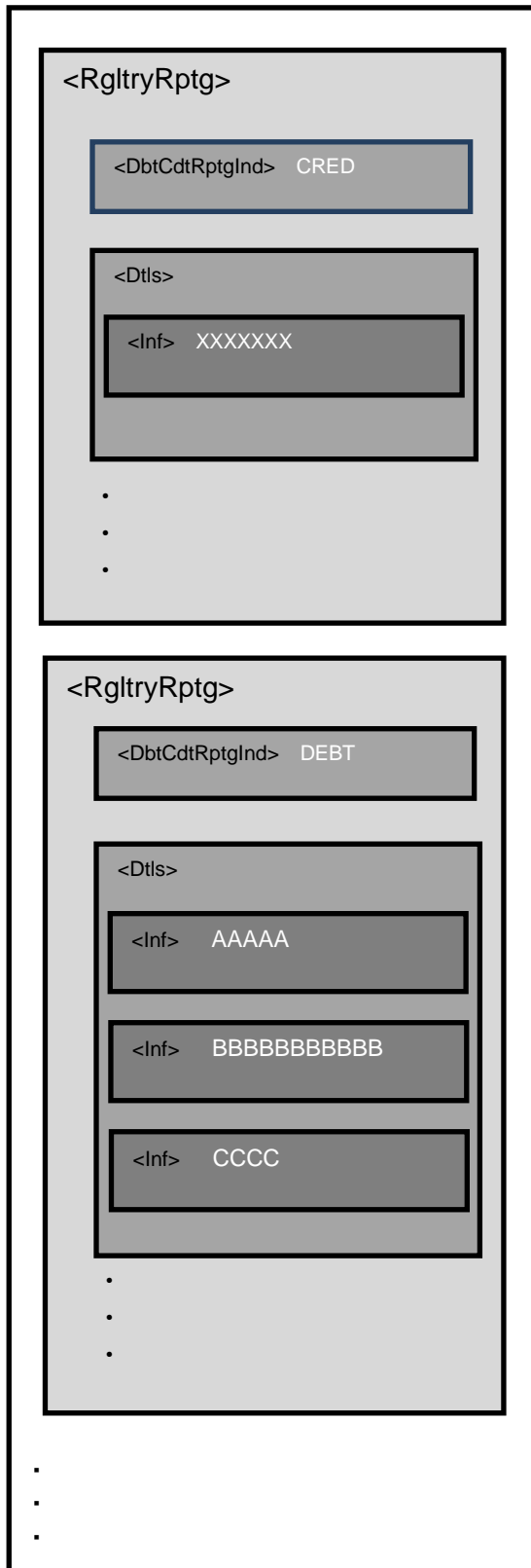
【タグのイメージ】

(1) タグ設定のイメージ

XML 構成イメージと実際の XML への設定イメージとなります。

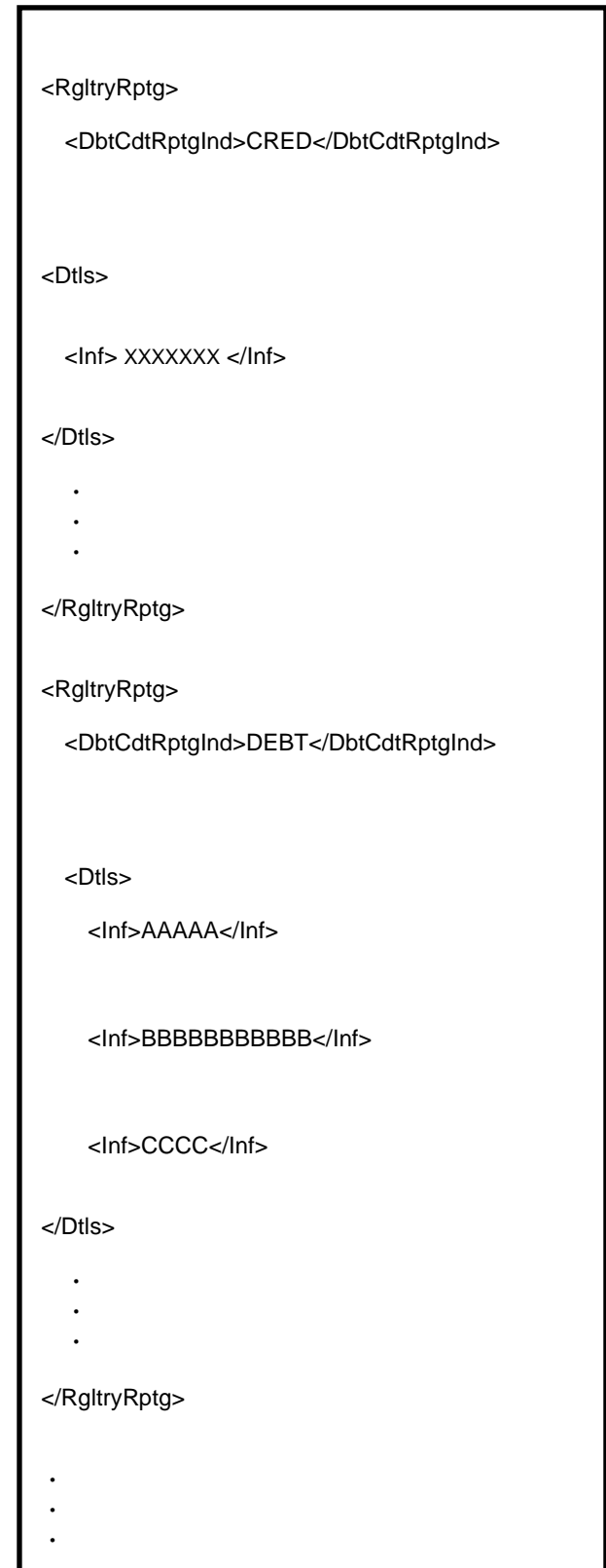
XML 構成のイメージ

XML



実際の XML への設定イメージ

XML



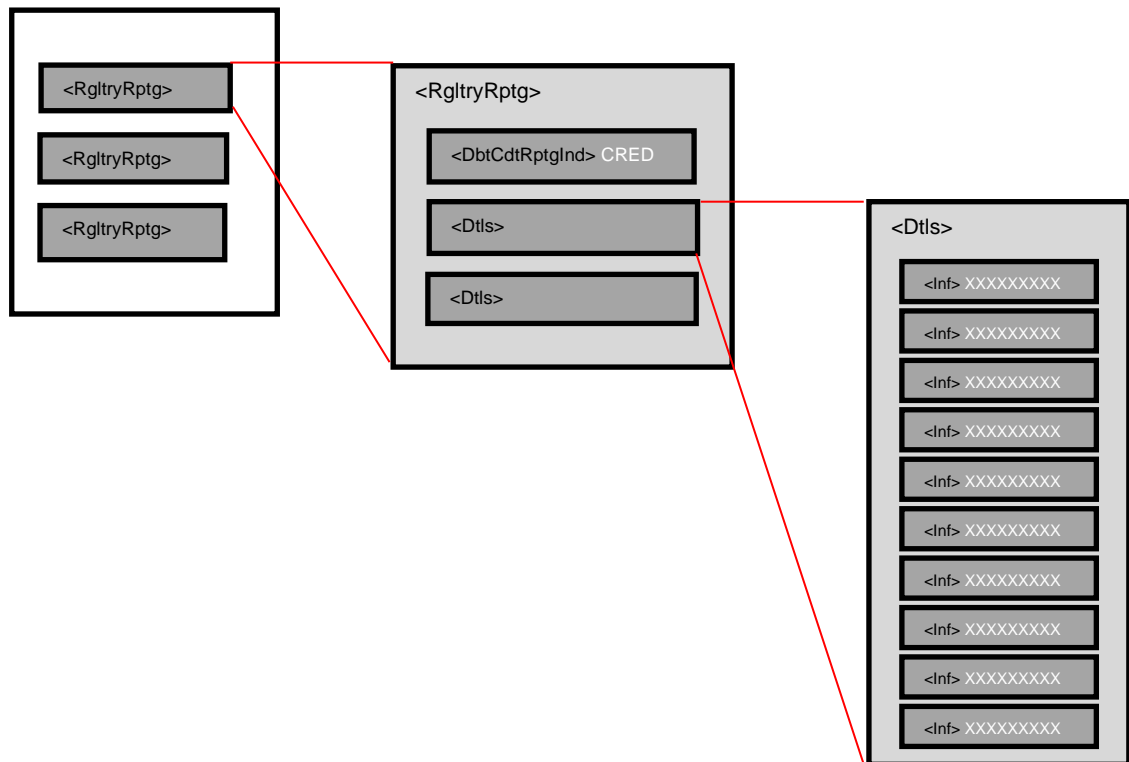
(2) タグ構造のイメージ

タグ構造のイメージとなります。

A 受取人銀行国の当局宛の申請の場合

各タグは以下の方法で設定が可能です。画面に表示されないケースは【画面表示されない入力例】をご確認ください。

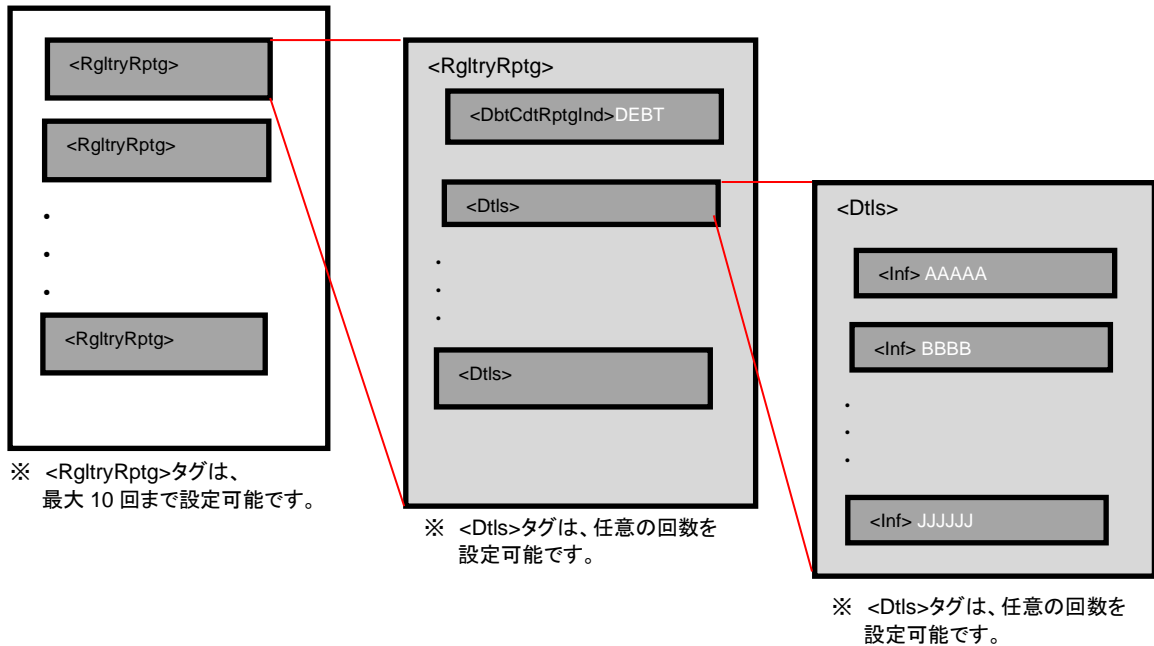
XML



B 送金銀行国の当局宛の申請の場合

B-a 送金区分が外国送金で日本口座からの引落以外の場合

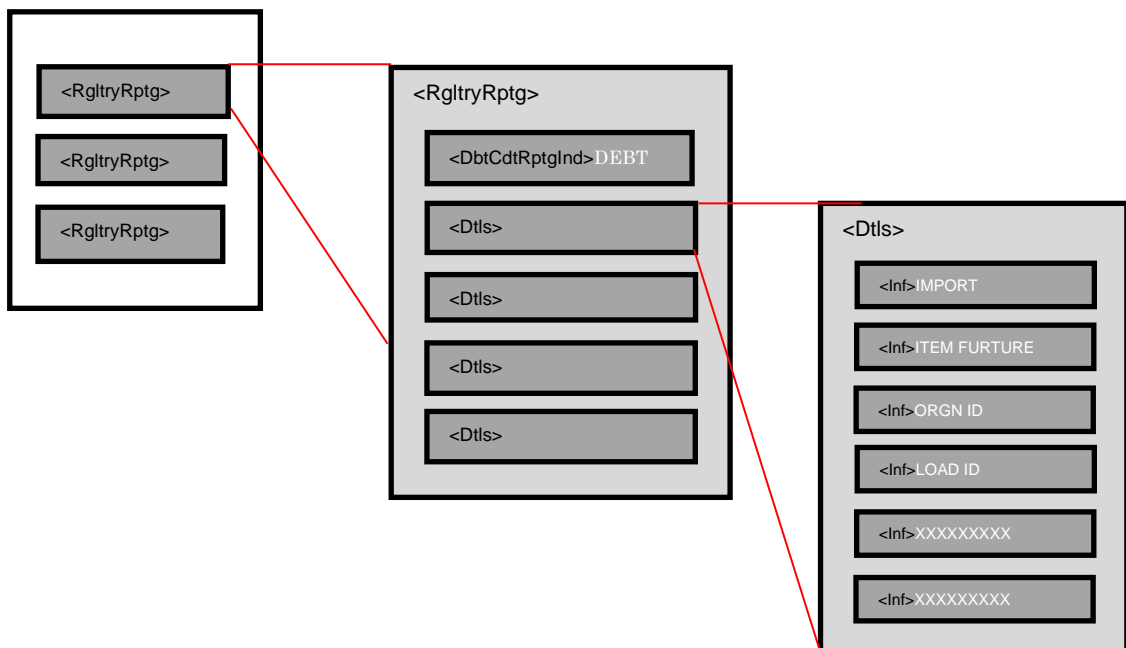
XML



B-b 送金区分が外国送金で日本口座からの引落の場合

各タグは以下の方法で設定が可能です。画面に表示されないケースは【画面表示されない入力例】をご確認ください。

XML



【正しい入力例】

以下、正しい入力例です。

パターン 1-2	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre><RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg></pre>	-
送金銀行当局宛	<pre><RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXX</Inf> <Inf>XXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg></pre>	-

【正しい入力例】

以下、正しい入力例です。

パターン 2-1	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre><RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>XXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXXXX</Inf> <Inf>XXX</Inf> <Inf>1234567</Inf> <Inf>XXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXX</Inf> </DtIs> </RgltryRptg></pre>	<ul style="list-style-type: none"> ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報1」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報2」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報3」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報4」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報5」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報6」に表示されます。

【正しい入力例】

以下、正しい入力例です。

パターン 2-2	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Tp>XXXXX</Tp> </Dtls> <Dtls> <Inf>XXXXXXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<p>← <Inf>タグ以外の設定は画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目に設定して発信されます。</p> <p>← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報1」に表示されます。</p>

【正しい入力例】

以下、正しい入力例です。

パターン 3-1-2、3-1-3	設定イメージ	ポイント
記入例		
送金銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID XXXXXX</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> </DtIs> <DtIs> <Inf>INTERMEDIARY TRADE</Inf> <Inf>ITEM MOTOR CAR</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID XXXXXX</Inf> <Inf>DEST SG XXXXXX</Inf> <Inf>IMF 999</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> </DtIs> <DtIs> <Inf>NON TRADE</Inf> <Inf>IMF 873</Inf> </DtIs> </RgltryRptg> </pre>	<p>← 以下の情報が送金銀行宛情報(貿易)として取り扱う対象になります。</p> <p>← 画面上の「商品の品目」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「原産国」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「許可番号 / 日付」に表示されます。</p> <p>← 以下の情報が送金銀行宛情報(仲介貿易)として取り扱う対象になります。</p> <p>← 画面上の「商品の品目」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「原産国」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「仕向国」、「仕向地」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「国際収支項目番号」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「許可番号 / 日付」に表示されます。</p> <p>← 以下の情報が送金銀行宛情報(貿易外取引)として取り扱う対象になります。</p> <p>← 画面上の「国際収支項目番号」に表示されます。</p>

【エラーになる入力例】

以下、エラーになる入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 1-2	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>1200</Inf> </Dtls> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20211018</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<p>← 同一の<RgltryRptg>タグ内に<DbtCdtRptgInd>タグの設定が重複しているため、エラーになります。</p> <p>← 同一の<RgltryRptg>タグ内に<DbtCdtRptgInd>タグの設定が重複しているため、エラーになります。</p>

【エラーになる入力例】

以下、エラーになる入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 3-1-3	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM XXXX</Inf> <Inf>ITEM XXXXXXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> <Inf>XXXXXXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<p>← <Dtls>タグ内の<Inf>タグに、項目指定キーワード("ITEM")が重複して設定されているため、エラーになります。</p>

【画面表示されない入力例】

以下、画面表示されない入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 2-1	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXXXX</Inf> <Inf>XXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報1」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報2」に表示されます。 ← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報3」に表示されます。 ← 他の<Dtls>タグ内に<Inf>タグがすでに設定されているため、画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目に設定して発信されます。 ← 他の<RgltryRptg>タグ内に<Inf>タグがすでに設定されているため、画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目に設定して発信されます。 ← 他の<RgltryRptg>タグ内に<Inf>タグがすでに設定されているため、画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目に設定して発信されます。 ← <RgltryRptg>タグの繰り返しりが 4 回目のため、画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。

【画面表示されない入力例】

以下、画面表示されない入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 2-2	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Tp>XXXXX</Tp> <Dt>20240329</DT> </DtIs> </RgltryRptg> </pre>	<p>← <Inf>タグ以外の設定は画面に表示されませんが、受取人銀行宛に「規制上の申告」項目に設定して発信されます。</p>

【画面表示されない入力例】

以下、画面表示されない入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 3-1-2(1)	設定イメージ	ポイント
記入例		
受取人銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>CRED</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>1200</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<p>← 画面上の「受取人銀行宛情報」の「情報1」に表示されます。</p>
送金銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> </Dtls> <Dtls> <Inf>XXXXXXXXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXXX</Inf> </Dtls> <Dtls> <Inf>INTERMEDIARY TRADE</Inf> <Inf>ITEM MOTOR CAR</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>DEST SG</Inf> <Inf>IMF 071</Inf> </Dtls> <Dtls> <Inf>XXXXXXXXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXXX</Inf> </Dtls> <Dtls> <Inf>NON TRADE</Inf> <Inf>IMF 873</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>XXXXXXXXXXXXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXXX</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>INTERMEDIARY TRADE</Inf> <Inf>ITEM MOTOR CAR</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>DEST SG</Inf> <Inf>IMF 071</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<p>← 以下の情報が送金銀行宛情報(貿易)として取り扱う対象になります。</p> <p>← 画面上の「商品の品目」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「原産国」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「許可番号 / 日付」に表示されます。</p> <p>← <Inf>タグに種別指定キーワード("IMPORT"など)が未設定のため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p> <p>← 以下の情報が送金銀行宛情報(仲介貿易)として取り扱う対象になります。</p> <p>← 画面上の「商品の品目」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「原産国」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「仕向国」、「仕向地」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「国際収支項目番号」に表示されます。</p> <p>← <Inf>タグに種別指定キーワード("IMPORT"など)が未設定のため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p> <p>← <Dtls>タグの繰り返しは5回目のため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p> <p>← <Inf>タグに種別指定キーワード("IMPORT"など)が未設定のため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p> <p>← <RgltryRptg>タグの繰り返しは4回目のため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p>

【画面表示されない入力例】

以下、画面表示されない入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 3-1-2(2)	設定イメージ	ポイント
記入例		
送金銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>INTERMEDIARY TRADE</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>DEST SG XXXXXXXX</Inf> <Inf>XXXX</Inf> <Inf>XXXXXXXX</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> </DtIs> <DtIs> <Inf>INTERMEDIARY TRADE</Inf> <Inf>ITEM MOTOR CAR</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID XXXXXXXX</Inf> <Inf>DEST SG XXXXXXXX</Inf> <Inf>IMF 999</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> </DtIs> </RgltryRptg> </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ← 以下の情報が送金銀行宛情報(貿易)として取り扱う対象になります。 ← 画面上の「商品の品目」に表示されます。 ← 画面上の「原産国」に表示されます。 ← 種別指定キーワード("IMPORT")がすでに設定されているため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。 ← 送金銀行宛情報(貿易)として、画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。 ← <Inf>タグに種別指定キーワード("IMPORT")の対象ではない項目指定キーワード("DEST")が設定されているため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。 ← <Inf>タグに項目指定キーワード("ITEM"など)が設定されていないため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。 ← <Inf>タグの繰り返しが9回のため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。 ← 以下の情報が送金銀行宛情報(仲介貿易)として取り扱う対象になります。 ← 画面上の「商品の品目」に表示されます。 ← 画面上の「原産国」に表示されます。 ← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。 ← 画面上の「仕向国」、「仕向地」に表示されます。 ← 画面上の「国際収支項目番号」に表示されます。 ← 画面上の「許可番号 / 日付」に表示されます。

【画面表示されない入力例】

以下、画面表示されない入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 3-1-2(3)	設定イメージ	ポイント
記入例		
送金銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID JAKARTA</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <Dtls> <Inf>NON TRADE</Inf> <Inf>IMF 873</Inf> </Dtls> </RgltryRptg> </pre>	<p>← 以下の情報が送金銀行宛情報(貿易)として取り扱う対象になります。</p> <p>← 画面上の「商品の品目」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「原産国」に表示されます。</p> <p>← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。</p> <p>← 他の<Dtls>タグ内に種別指定キーワード("IMPORT")がすでに設定されているため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p> <p>← 他の<RgltryRptg>タグ内に種別指定キーワード("IMPORT")がすでに設定されているため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p> <p>← 他の<RgltryRptg>タグ内に種別指定キーワードがすでに設定されているため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。</p>

【画面表示されない入力例】

以下、画面表示されない入力例です。(ポイントとなる箇所は赤字部分です)

パターン 3-1-2(4)	設定イメージ	ポイント
記入例		
送金銀行当局宛	<pre> <RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>XXXXXX</Inf> <Inf>LCNS XXX XXXX XXXX / 20241018</Inf> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN ID</Inf> <Inf>LOAD ID XXXXXX</Inf> </DtIs> </RgltryRptg> </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ← <Inf>タグに項目指定キーワード("ITEM"など)が設定されていないため、画面に表示されませんが、送金銀行宛に「規制上の申告」項目としてお取り扱いします。 ← 送金銀行宛情報(貿易)として、画面上の「許可番号 / 日付」に表示されます。 ← 以下の情報が送金銀行宛情報(貿易)として取り扱う対象になります。 ← 画面上の「商品の品目」に表示されます。 ← 画面上の「原産国」に表示されます。 ← 画面上の「船積国」、「船積地(都市名)」に表示されます。

【申告内容に応じた設定条件(必須 任意)と設定方法】

- ・申告種別(貿易、仲介貿易など)に応じて、IMPORT, INTERMEDIARY TRADE などの種別指定キーワードを1回目の<Inf>タグに設定してください。
- ・申告項目(品目名、原産国など)に応じて、必要な申告情報に項目指定キーワードを冒頭に添えて2回目の<Inf>タグに設定してください。

申告種別	キーワード (*1) (*2)		申告項目	設定条件	タグ設定時のイメージ (*3)
	種別指定キーワード				
	項目指定キーワード				
貿易	IMPORT			必須	<RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>IMPORT</Inf> <Inf>ITEM△FURNITURE</Inf> <Inf>ORGN△ID</Inf> <Inf>LOAD△ID△JAKARTA</Inf> <Inf>LCNS△XXX△XXXX△XXXX△/△20241018</Inf> </DtIs> </RgltryRptg>
	「ITEM△」	貿易品目名	必須		
	「ORGN△」	貿易原産国	必須		
	「LOAD△」	貿易船積国 貿易船積地(都市名)	必須 必須(*4)		
	「LCNS△」	貿易許可番号 / 日付	任意		
仲介貿易	INTERMEDIARY△TRADE			必須	<RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>INTERMEDIARY△TRADE</Inf> <Inf>ITEM△MOTORCAR</Inf> <Inf>ORGN△ID</Inf> <Inf>LOAD△ID△JAKARTA</Inf> <Inf>DEST△SG</Inf> <Inf>IMF△071</Inf> </DtIs> </RgltryRptg>
	「ITEM△」	仲介貿易品目名	必須		
	「ORGN△」	仲介貿易原産国	必須		
	「LOAD△」	仲介貿易船積国 仲介貿易船積地(都市名)	必須 必須(*4)		
	「DEST△」	仲介貿易仕向国 仲介貿易仕向地	必須 任意		
	「IMF△」	仲介貿易国際収支項目番号	任意		
	「LCNS△」	貿易許可番号 / 日付	任意		
貿易外取引	NON△TRADE			必須	<RgltryRptg> <DbtCdtRptgInd>DEBT</DbtCdtRptgInd> <DtIs> <Inf>NON△TRADE</Inf> <Inf>IMF△873</Inf> </DtIs> </RgltryRptg>
	「IMF△」	貿易外取引国際収支項目番号	任意		

(*1) 大文字／小文字を区別しない。

(*2) △:半角スペース

(*3) "IMPORT"、"INTERMEDIARY△TRADE"、"NON△TRADE"のいずれかは、最初の<Inf>タグに設定してください。

(*4) 船積国が中国、韓国、ロシアのいずれかの場合、船積地の設定が必要です。